



2023年2月1日

各位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者  
窪田 良  
コード番号 4596 東証グロース  
問合せ先 広報・IR部  
(TEL：03-6550-8928 (代表))

“目の外遊び” 「Kubota Glass®」を用いた  
鹿児島園田眼科による前向き介入研究開始のお知らせ

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都千代田区、以下「当社」)は、医療法人 明星会 鹿児島園田眼科・形成外科(以下、園田眼科)において、当社100%子会社のクボタビジョン・インク(本社：米国ワシントン州、以下「クボタビジョン」)が販売している「Kubota Glass」の前向き介入研究を開始したことをお知らせいたします。

本臨床試験は、7歳以上の小児を対象に、当社が貸与した「Kubota Glass」の使用感を評価します。

本臨床試験の研究責任者である医療法人 明星会 鹿児島園田眼科・形成外科 園田祥三先生は、日本眼科学会・日本眼科医会・網膜硝子体学会・日本眼循環学会・日本眼科AI学会・日本眼科手術学会・米国視覚眼科学会・日本眼薬理学会などに所属し、眼科全般・角膜・加齢黄斑変性・緑内障・網膜硝子体疾患を専門とする眼科専門医です。

園田先生は、様々な最新医療機器を積極的に臨床現場で使用しており、その評価により眼科医療の発展に貢献されています。以前にもクボタビジョンが開発する遠隔医療眼科網膜モニタリング機器「PBOS」(Patient Based Ophthalmology Suite)の臨床試験を実施し、高い評価をいただきました。

■園田祥三先生コメント

「国内でもここ数年で、近視患者の増加について注目されるようになりました。近視は、過度に進行すると緑内障や網膜剥離、網膜分離症など様々な疾患につながる事が知られており、特に近視が最も進行する小児期に正しく管理を行うことが重要と考えられています。子供が日常的に着用するには、安全性が高だけでなく、ストレスが少なく、継続して使用できるという点も非常に重要な観点と考えています。今回の臨床試験では、すでに米国で行われている小児の使用感評価試験を日本人でも行うことで、より我々日本人にとって継続的に使用可能なものであるかを検証したいと思います。」



#### ■窪田良博士コメント

「当社は、販売活動と並行して、様々な臨床試験を継続し、より多くのエビデンスを取得することを目指しております。Kubota Glass は、昨年8月から日本と米国にて販売を開始しましたが、今回、国内初となる臨床試験が、園田先生の熱意により実現されたことを大変嬉しく思います。今後もエビデンスを積み上げつつ、より多くの方に製品をお届けできるよう努力してまいります。」

なお、本件による当社の2022年12月期及び2023年12月期連結業績への影響はありません。

#### Kubota Glass とは

Kubota Glass は、“目の外遊び”として、遠くをみている映像環境を再現するARデバイスです。昨今の近視人口の増加は、環境要因が大きいと考えられており、その中でも野外活動の減少が大きな要因と考えられています。Kubota Glass は、AR（拡張現実）の技術を応用し、目だけに野外活動を再現しています。自然光のような広い波長と明るさのマイクロLEDを用いて、遠くをみている映像環境を再現しています。本製品は、米国および台湾で医療機器登録を完了しております。

#### クボタメガネテクノロジーとは

クボタメガネテクノロジーは、網膜に人工的な光刺激を与えて近視の進行の抑制、治療を目指す当社独自のアクティブスティミュレーション技術です。網膜に光刺激を与えて近視の進行の抑制、治療を目指す技術は既に実用化されており、米国ではCooperVision社の「MiSight®1day」という製品が近視抑制の効果があるとして米国食品医薬品局（FDA）より認可を受け、販売されています。この製品は、多焦点コンタクトレンズの仕組みを応用し、自然光をぼかして網膜周辺部に刺激を与えることで、一般的な単焦点コンタクトレンズと比較して近視の進行を抑制することを証明したコンタクトレンズです。一方、当社グループの「クボタメガネテクノロジー」は、この理論的根拠をもとにナノテクノロジーを駆使してメガネに投影装置を組み込むことで、自然光をぼかすことなく、直接一番効果的な映像を網膜周辺部に投影することを実現し、先行品よりも短時間の使用でより自然な見え方を維持しながら、高い近視抑制効果を実現することを目指しています。

#### 窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。現在は、ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」および、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）などの医療機器開発に注力しております。

（ホームページアドレス：<https://www.kubotaholdings.co.jp>）

#### 免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第



三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定(一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません)に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。